

第3回 気賀小学校運営協議会 次第

令和5年10月26日(木)

14:15~16:15

気賀小学校第1会議室

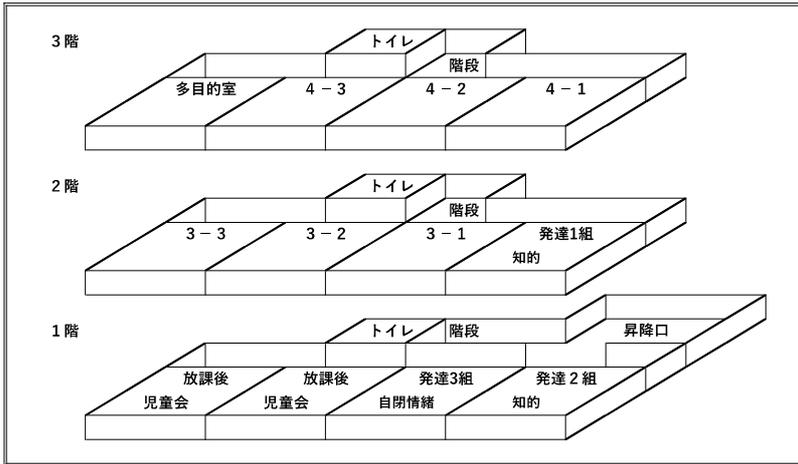
- 1 開会のことば 〈司会：教頭〉
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 日程確認 〈14:18~14:20〉
- 5 授業参観（6校時） 〈14:20~14:50〉
- 6 議長の確認
- 7 前回会議録の確認 〈14:50~14:55〉 … 資料①
- 8 報告 〈14:55~15:10〉 〈進行：議長〉
  - ・学校支援コーディネーター活動経過報告と振り返り … 資料②③
  - ・本校の課題について … 資料④
- 9 熟議 〈15:10~15:40〉
  - ・学校支援活動（気賀っ子応援団）の活動について
  - ・次年度の教育課程編制へ向けて … 資料⑤
- 10 グループ協議（学校運営協議委員と学校職員） 〈15:40~16:10〉  
… 資料⑥
- 11 連絡・その他 〈16:10~16:15〉
  - ・学校運営協議会の自己評価について … 資料⑦
  - ・次回議長の確認
  - ・第4回気賀小学校運営協議会  
【日時】 令和6年2月2日（金）13:00~  
【場所】 南校舎1階 第1会議室
- 12 閉会のことば

## 参加者名簿

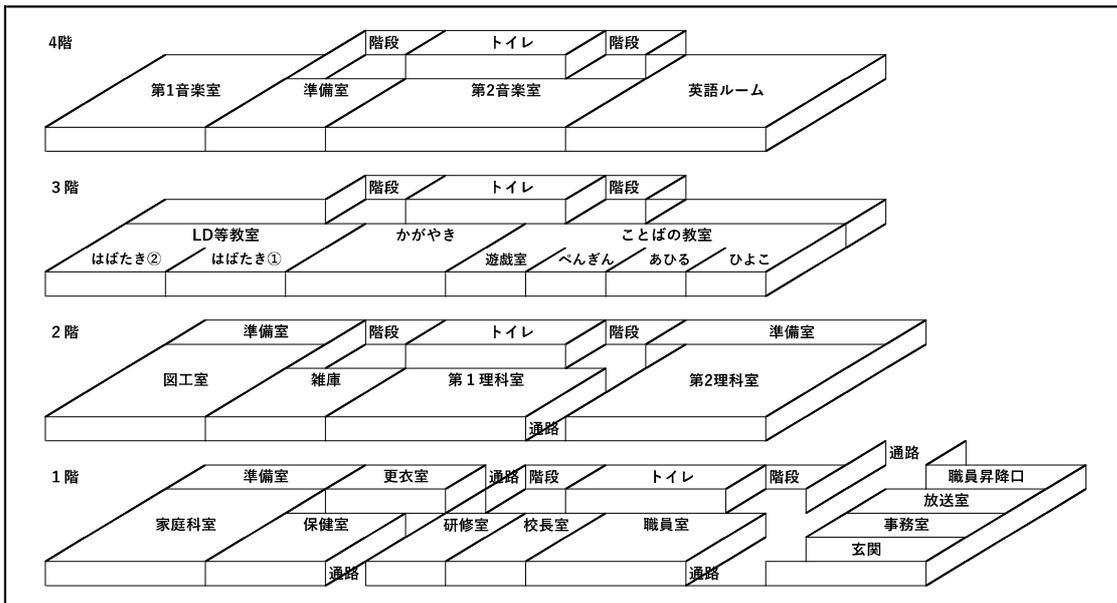
1	会 長	宮崎 順孝
2	副会長	田力 祐二
3		石川 隆久
4		長谷川 真奈美
5		山田 真代子
6		石田 潤司
7		伊勢 聖
8	学校支援 コーディネーター	木俣 契一
9	学校支援 コーディネーター	小田木 真砂子
10	学校支援 コーディネーター	藤田 嘉代
11	市教委 総務課	牧野 知子
12	校長	齊藤 昌長
13	教頭	内山 忠久
14	主幹	古橋 孝文
15	CS担当	朝比奈 愛子
16	CS ディレクター	内山 尚子

R5年度 教室配置

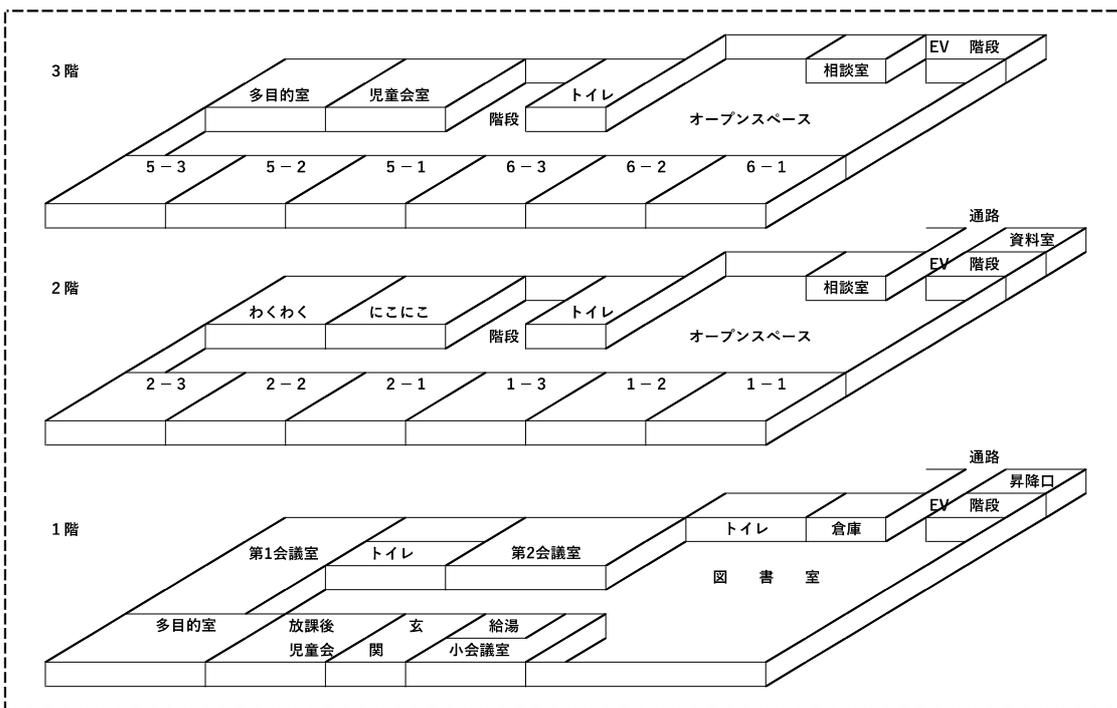
北校舎



中校舎



南校舎



## 令和5年度 第2回 気賀小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年6月15日（木）午後1時9分から午後3時15分まで
- 2 開催場所 気賀小学校 第1会議室
- 3 出席委員 宮崎順孝、石川隆久、長谷川真奈美、田力祐二、山田真代子、木俣契一、小田木真砂子、藤田嘉代
- 4 欠席委員 石田潤司、伊勢聖
- 5 学校 齊藤昌長（校長）、内山忠久（教頭）、朝比奈愛子（CS担当職員）、内山尚子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 清水悠（教育総務課）
- 7 傍聴人 なし
- 8 会議録作成者 内山尚子（CSディレクター）

## 9 議長の選出

前回運営協議会後に議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## 10 協議事項

- (1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告
- (2) 学校の抱える課題（気賀の子供たちの現状）について
- (3) 自己評価表の評価項目について

## 11 会議記録

司会の内山教頭から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

## (1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告

議長の指示により、小田木委員、藤田委員から、別紙資料に基づき報告があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 浜松市体育協会細江支部では、学校から依頼があれば、全てのスポーツ指導の協力をさせていただきますので何でも御相談ください。（田力委員）

## (2) 学校の抱える課題（気賀の子供たちの現状）について

議長の指示により、齊藤校長から、別紙資料に基づき学校の抱える課題（気賀の子供たちの現状）についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

## 《授業参観での気付き》

- ・ 4年生福祉の体験活動で、お互いに声を掛け合い協力する姿（反応）が見られて温かい気持ちになった。（石川委員）
- ・ 1年生の指導が大変そうに見えたが、気賀小ロードマップの4つのステージごとに指導し続けていけば子供も育っていくと思う。5月に開催された運動会は、短い時間のなかでの進行がとてもすばらしかった。一つ一つの行動に気賀っ子らしさが表れていた。（田力委員）
- ・ 個性を重視すると全体指導が難しくなる。低学年は先生方だけで子供たちを見るのは大変なので支援員の方々の補助がもっと必要。（齊藤校長）
- ・ 午後の授業だったので、子供たち同士で話し合う活動が良かったが、マスクで表情が

分かりづらく残念。発達学級内でそれぞれの学年の立場を考えた行動が見られ、子供たちの成長を感じた。フリーの先生の困っている子への支援が素早くとても良かった。  
(長谷川委員)

- ・ どのクラスの入り口にも『かがやきカード』が置いてあり、「お子さんのいいところを見つけて書いてください」とコメントがあった。親がメッセージを書くことで子供たちの励みにつながると思うので、とてもよい取り組みだと思った。担任の先生が工夫して授業の中で学び合いの場を設けていることで、学校が統一して取り組んでいるのだと感じた。勉強だけでなく、人間関係においても良い環境がある。マスク生活が長くて、以前より気になっていること（弊害）はあるか。(山田委員)
- ・ マスクをしていると表情を見て話を聞くことができないので言語理解が深まっていない気がする。自分の気持ちを伝える術を考えていく事が課題である。(齊藤校長)
- ・ 決まりを守れない子供に対して学校はどのように対応しているのか。(山田委員)
- ・ できていない子よりできている子をほめていくことを先生方をお願いしている。また職員同様に支援員の方々にも、決められた約束を守れた時にほめるようお願いしている。増え続けている発達障害やグレーゾーンの子供たちも一緒に授業ができるようにICTを活用したり、システムを変えていかなければいけないと思う。(齊藤校長)
- ・ 校外学習で話を聞かず他の子と同じ行動がとれない子がいた。先生も周りの声をあまり気にせず自信をもって指導していただいても良いのかなと思った。(木俣委員)
- ・ 先生方に「～しなさい」ではなく「～でいいの?」という疑問形で子供たちに話をするように言っている。(齊藤校長)
- ・ ボランティア参加時、前もって子供の情報がわかっていると対応がしやすい。  
(長谷川委員・小田木委員)
- ・ グループの話し合いで、1、2年生は男女でグループが分かれていたが、5、6年生は男女で協力して話し合いを進めていたのが印象的だった。5、6年生は、言われなくても席を離れて自分で相手を見つけられるところが成長を感じた。  
(藤田委員、小田木委員)

### (3) 自己評価表の評価項目について

議長の指示により、内山教頭から、別紙資料に基づき自己評価表の評価項目について説明があり、また、教育総務課清水悠氏より昨年との変更点等補足説明があった。

#### その他連絡事項等

- ・ 次回議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があった。
- ・ 次回会議は、令和5年10月26日(木)午後1時00分から第1会議室で開催する旨の連絡があった。

学校支援コーディネーター活動報告

令和5年10月26日

## 1、主な活動

- ・家庭科、生活、社会について授業補助のボランティアを募り、支援をお願いした。
- ・社会科、国語について、講師の依頼、実施。
- ・はままつ人づくりネットワークより講師の依頼、実施。
- ・クラブ活動の補助、講師の依頼。
- ・学校支援コーディネーター研修会への参加（zoom 視聴）
- ・「気賀っ子応援団」（CS だより）の作成。

## 2、活動報告

○6月 3年生：公共施設見学、商工会見学、歴史探検

2年生：神話読み聞かせ

3年生：農業見学

発達：ソーイング

発達：SDGs 講座「高齢者体験・手洗い体験」

クラブ活動

○6月～7月

5年生：ソーイング

3～5年生：ボール投げ

○9月

6年生：歴史探検

3～4年生：ボール投げ

3年生：マックスバリュ見学

発達：SDGs 講座「E お買い物」

1年生：朝顔リース

3年生：戦争のお話

学校支援コーディネーター研修会への参加（zoom 視聴）

クラブ活動

○9～10月

5～6年生：ミシン

○10月

1年生：公園山秋探し

2年生：もっとまちたんけん

## 3、その他

◎今後の支援予定

- ・器械体操・走り方講座
- ・5～6年生家庭科（ミシン・調理実習）

◎今後の課題

- ・ボランティアに望む支援の仕方について
- ・園芸ボランティアの組織作りについて

# 気賀っ子応援団

～気賀小コミュニティ・スクールだより～

第10号 令和5年10月

今年度は感染症の対策もしつつ、たくさんのボランティアの皆さんの御協力をいただきました。子供たちの安全を確保した上で、人とのかかわりを通し充実した活動を進めることができました。また、ボランティア同士のつながりや、保護者同士のコミュニケーションで、気賀っ子応援団の輪が広がっていることを感じる今日この頃です。今後も皆さんお誘い合わせの上、是非気賀小学校へ足を運んでみてください。子供たちの笑顔が待っています。

## 活動の様子

### 1年生

#### 朝顔リース



#### 秋探し（公園山）



### 2年生

#### 神話読み聞かせ



#### もっとまちたんけん



### 3年生

#### 校外学習



#### 戦争講話



4年生

ボール投げ



クラブ活動



5年生

小物作り、ミシン（ランチョンマット）



6年生

歴史探検



ミシン（トートバッグ）



発達

ソーイング



SDGs 講座



**気賀っ子応援団、募集中！！**

気賀小では、引き続き、授業支援のボランティアをしていただける方を募集しています。  
家庭科・園芸・引率補助・絵本の読み聞かせ・花の水やり等、興味のある方は気賀小学校  
CS担当もしくは学校支援コーディネーターへ御連絡ください。

**気賀小学校 電話：053-523-0158**

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果（気賀小学校）

※実施時期は6年生ですが、内容は5年生までの調査です

4月に行いました「全国学力・学習状況調査」の全国の結果が公表されましたので、比較して本校の様子をまとめました。今回の調査結果を6年生の指導に生かすとともに、今後の本校の教育活動に関する計画・実践の貴重な参考資料としていきたいと考えています。

### ○教科に関する調査

#### 国語

	平均正答率（％）
気賀小学校	69
静岡県（公立）	67
全国（公立）	67.2

◎平均を上回る ○ほぼ平均 △平均をやや下回る

- ・全国・県と比べて平均を上回っている。
- ・平均付近と全問正解の人数が全国・県に比べて多くなっている。
- ・低位にも山がある。

### 知識及び技能

言葉の特徴や使い方に関する事項 ○

情報の扱い方に関する事項 ○

### 思考力・判断力・表現力

A：話すこと・聞くこと ○

B：書くこと ◎（全国・県平均より高いが、数値は低い）

C：読むこと △

#### 算数

	平均正答率（％）
気賀小学校	65
静岡県（公立）	62
全国（公立）	62.5

- ・全国・県と比べて平均を上回っている。
- ・正答率については、全国・県に比べて二極化がみられる。（平均付近の人数が少ない）
- ・全問正解が多い。

A：数と計算 ○

B：図形 ◎（全国・県平均より高いが、数値は低い）

C：変化と関係 ○

D：データの活用 △

### ○児童質問紙（全国・県平均との比較結果）

#### 生活習慣

○毎日同じくらいの時刻に起きていますか

●毎日同じくらいの時刻に寝ていますか

○上回っている ●下回っている

規則正しい生活を送ることができているが、寝る時間は若干遅くなっている

## 自己肯定感

自己肯定感は高い傾向にある

○自分にはよいところがあると思いますか

## 教師との関係

教師との関係はおおむね良好である

○先生はあなたの良いところを認めてくれていますか

## いじめ

○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている

○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか

●人が困っている時は、進んで助けていますか

○学校に行くのは楽しいと思いますか

○友達関係に満足していますか

いじめをしてはいけないことは分かっている。  
学校生活は楽しいと思っている子が多く、友人関係にも満足しているが、人との関わりを避ける一面もみられる。

## 家庭学習

●家で計画を立てて勉強していますか（学校の授業の予習や復習を含む）

●●学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

●学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか

家庭学習の時間はかなり少ない。復習や予習などをする時間も少ない傾向にある。  
学習塾に通っている割合も低い。

## 読書

○読書は好きですか

●学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍含む）

●学校が休みの日に本を読んだり、借りたりするために学校図書館、学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか

●あなたの家にどれくらい本がありますか

●●新聞を読んでいますか

読書は好きな子が多いが、実際に読んでいる本の数、時間共にかなり少ない。  
新聞を読んでいる子の割合はかなり低く、社会情勢について関心が低い子が多いとみられる。

## 地域参画

○今住んでいる地域の行事に参加していますか

●地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

●外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか

地域の行事には参加している子は多いが、積極的に地域などの外の世界と関わりを持ちたいと考えている子は少ない。

## 学習

○自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか

○友達と話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

○学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

友達との方わりの中で学習を進めることができています。一方でICTの活用や問題解決的な学習は十分でない。

●●5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか

●5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

●各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

●道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



# 2024 Kiga Plan



資料⑤

BALANCE & CHALLENGE FOR NEXT STAGE

## 気賀小の1年

学習発表会  
6年生を送る会  
卒業式

### ステップアップ

1・2・3月

入学式・始業式  
1年生を迎える会  
運動会

### スタート

4・5月

### 2024 Kiga Planに向けて

成績二期制と4ステージ制は2年目を迎え、子供たちの中に定着してきました。各ステージで目指す子供の姿を明確にして、教育活動を進めてきました。来年度もこのシステムを継続します。

各教育活動については、ねらいを明確にして、「気賀小らしさ」を大切に効率的に計画していきます。各ステージごとの学校行事をバランスよく配置し、一つ一つを充実させて、子供たちの成長を図りたいと思います。

CSの活動が充実し、地域の方々と子供たちが一緒に活動する機会が増えています。学習内容だけでなく、様々な年代の方々と触れ合うことで、豊かな人間関係を築いています。本年度の教育課程編成の中で、気賀小学校ならではの地域連携の在り方も検討し、地域に発信していきたいと思っています。

10・11・12月  
チェンジ

授業研究会  
修学旅行  
持久走記録会

6・7・9月  
チャレンジ

宿泊体験活動  
部活動  
新体力テスト

#### 学校の課題

授業改善(ICTの活用等)  
家庭学習の在り方  
授業時数の確保  
授業研究会  
部活動  
教員の働き方改革

#### 地域連携の課題

持続可能なCS  
学習ボランティア  
地域との交流



## 「チャレンジ」ステージの検証と「チェンジ」ステージの取組

10月4日に「チャレンジ」のステージの反省を行い、次の「チェンジ」のステージの取組について話し合いました。

### 1 学び合う子「思いや考えを聴き 伝える子」



チャレンジ	<p>○思考過程を話せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア、グループでの対話活動を意図的に設定する。</li> <li>・思考過程を含め、考えを伝える。（3文程度）</li> <li>・反応している子を称揚する。</li> </ul>
成果と課題	<p>○ ペア、グループで交流するとき、その目的や視点を教師が話すことで、<b>交流の質</b>が上がった。</p> <p>○ あたたかい聴き方、やさしい話し方の掲示を意識させることで、<b>相手を意識した学び方</b>になってきた。</p> <p>▲ 3文で自分の考えを伝えることが難しい子供が多い。教師が3文で話せるような発問やテーマを考えることも大切。</p> <p>▲ 深い話し合いができるように、話し合いの仕方を構造化し、それを子供たちに示す。（必要なクラス、学年。ない方が多くの意見が出る場合もあるため）</p>
チェンジ	<p>○思考過程を分かりやすく話せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いが活性化する問いを設定、吟味する。</li> <li>・思考過程を含め、考えを伝える。（3文程度）</li> <li>・子供に発言を反復させる。</li> <li>・自分の変容に気付いて振り返らせる。</li> <li>・反応、聴き方、話し方を振り返る時間をとる。</li> </ul>

### 2 たくましい子「命を大切にし 自分で決めためあてに向かって 生活する子」

チャレンジ	<p><b>【特別活動】</b></p> <p>ア かがやきカードを積極的に活用し、友達や縦割り班の仲間などと認め合う。</p> <p>イ 係活動の仲間と声を掛け合いながら、よりよい学級を目指す。</p> <p>ウ 学級の課題をつかみ、発達段階に応じた話し合いを行い、スムーズに合意形成を図る。</p> <p>エ 自己を振り返り、個に応じた目標に対し、スモールステップを意識して達成を目指す。</p> <p><b>【健康教育】</b></p> <p>ア 主運動に関連した準備体操を通して、けがのない体育の授業を展開する。チャレンジカルテをもとに、個に応じた運動の目標をたてる。</p> <p>イ 自己の生活習慣を見直し、課題解決に取り組む。</p> <p>ウ 食に関する知識を深め、配膳の工夫をする。給食の便りを通して、配ぜん中のマスクについて周知する。</p>
-------	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果と課題</p>	<p><b>【特別活動】</b>  △ア 行事やイベントなどが無いと、かがやきカードを進んで書くことができない。カードを書く時間が必要である。  ◎イ 係活動に責任をもって取り組めるようになってきた。個人差あり。  △ウ 話合いの型は定着してきたが、折り合いを付けたり、より深めたりすることが難しい。</p> <p><b>【健康教育】</b>  △ア 主運動に関連した準備体操に関して、学級差や学年差が見られる。チャレンジカルテを意識している子としていない子の差が大きい。チャレンジカルテを拡大印刷して掲示し、子供たちに意識させる。  ◎イ 生活リズムチェックから、生活習慣を意識する姿が見られた。  ◎ウ 給食をよく食べるようになってきた。マスクを忘れる子が減った。  △ウ 給食をグループで食べてよいか。⇒ 段階的に試行するのはどうか。生活リズムチェックから、朝食を食べない子が2割に達した。昼休みが少ないため歯磨きができない。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">チェンジ</p>	<p><b>【特別活動】</b>  ア 折り合いを付けて話をまとめることができる。  イ みんなとつながる。  ウ 生活上の課題を解決するために合意形成を図ったり、意思決定したりする話合いの中で様々な意見に触れ、考えを広げたり、多面的・多角的に考えたりする。  エ 協力・協働を通して、組織内の自分の役割に責任をもって取り組む。</p> <p><b>【健康教育】</b>  ア 自分が決めためあてに向かって、最後までやり抜く。  イ 自他の運動と生活について認め合い、心身の健康について広い視野と行動変容をイメージする</p>

### 3 思いやる子「『ひと・もの・こと』とよりよく関わる子」

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">チャレンジ</p>	<p><b>【生徒指導】</b>  ☆友達とのよりよい関わりを通して、自分のよさに気付く。  ・自己の目と他者の目を通した真剣な自己の行動の振り返りをする。 ※かがやきカード  6月:右側を静かに通る廊下歩行をしよう 7、8月:時刻を守って、きびきび行動しよう。  ・人を大切にす、他者を尊重する意識をもつ。  ・こころのアンケートを活用しながら、児童の心の様子を把握する。</p> <p><b>【道徳】</b>  ○効果的な話合いの工夫→主体的に考えることができるような発問の工夫  話合いの形態の工夫 (ペアトーク、グループトーク等)  ○一人一鉢栽培 (サルビアの栽培)  ○かがやきカードによる交流 (学級→学年の友達へ)  ○はままつマナーの効果的な活用 命の日の指導</p>
--	---

<b>成果と課題</b>	<p><b>【生徒指導】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ かがやきカードや良いこと発見等で、友達のよいところを他の友達に紹介する機会を積極的にもった。友達のよさをみつけられる子が増え、<b>全体的に集団の雰囲気</b>が上がってきた。</li> <li>○ <b>目標を意識して生活しようとする子供</b>が増えてきた。ただ、一部マナーやルールに対して緩さが見られることもあり、修学旅行等の対外行事での過ごし方を意識させ、ルールやマナーを遵守する気持ちを高めていきたい。</li> <li>○ こころのアンケートに基づき、問題行動への指導をしてきた。<b>大きな問題に発展することなく生活</b>をすることができた。</li> </ul> <p><b>【道徳】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体的に道徳の授業での挙手が増え、<b>自分の意見が言える子</b>が増えてきた。また、相互交流では、<b>友達と意見を積極的に交わす姿</b>が見られるようになってきた。</li> <li>○ サルビアの栽培では、朝、水やりをしたり、<b>傷んだ花を摘み取ったりする姿</b>がみられた。</li> <li>○ なかよし遊びや縦割り清掃等の機会に、<b>下学年へかがやきカードを書く機会</b>を設けた。</li> <li>○ <b>はままつマナーの時間は真剣に考える姿</b>が見られたが、トイレのスリッパの整頓など、まだ意識が低いと感じられる部分もある。今後指導を継続する。</li> </ul>
<b>チェンジ</b>	<p><b>【生徒指導】</b></p> <p>☆ 課題の意義に気付き、自分なりのめあてを決め、見通しと計画をもって、粘り強く取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>9月 くつ・サンダルをきちんとそろえよう</li> <li>10月 大きな声、気力あふれるよい授業をしよう</li> <li>11月 どんどんさっさ、だまって集合しよう</li> <li>12月 黙働流汗、ピカピカ清掃をしよう</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級力アンケートを基に方針と具体策を決める。</li> <li>・かがやきカードを使って、良かったところを認め合う。（学級、チーム、個人）</li> <li>・こころのアンケートを活用しながら、児童の心の様子を把握する。</li> </ul> <p><b>【道徳】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○かがやきカードによる交流を学年団で話し合っていく。</li> <li>○一人一鉢栽培</li> <li>○はままつマナーの効果的な活用 全校道徳での指導</li> </ul>

御記入の上、第4回学校運営協議会（R6.2.2）にて提出

（様式2）

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名（

）

<本年度の目標>

- 学校運営協議会の取組について、家庭や地域へ情報を発信し、活動内容や実際の様子の周知を図る。
- 学校運営協議会と教職員との連携を高め、学校支援活動のさらなる充実を図る。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

--

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

--

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

--

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

--

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表  
委員名 ( )

＜本年度の目標＞

※ 協議会で設定した取組目標を記載する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。
- ※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。
- ※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。
- ※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけでなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。
- ※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ※ どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ※ 委員個人の目標だけでなく、協議会全体としての目標を記載する。

【 熟議チェックシート 】

委員名 ( )

できている もう少し

評価項目 1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
			学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
			学校運営について、率直に意見を述べることができた。
評価項目 2			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。